

第3学年道徳学習指導案

平成29年11月21日（火）5校時
四万十市立東中筋中学校 第3学年 14名
授業者 三村幸子

1 主題名 きまりの遵守 C(10) 遵法精神、公德心

2 ねらい 元さんの思いを考慮を通して、きまりの意義や、きまりを守ることが規律ある安定した社会の実現につながることを理解し、社会の一員として進んできまりを守り、秩序と規律ある社会を作ろうとする実践意欲を育てる。

3 教材名 「二通の手紙」（出典：「私たちの道徳」文科省）

4 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容についての教師の考え方

社会では、秩序や規律が維持されて初めて個人の自由が保障され、よりよい生き方を実現できる。そのためには、法やきまりは、自他の安全な生活や権利を守るために生み出されたものであることを理解し、自分のこととして関心を持ち、進んできまりを守ろうとすることが大切である。きまりに対する理解を深め、社会の一員として、進んできまりを守り秩序と規律ある安全な社会を実現しようとする意欲を育てるために本主題を設定した。

(2) 生徒の実態と教師の願い

本学級の生徒は、小学校から小集団で育ってきており、中学生にありがちな違法行為とはほぼ無縁の状態、安心して生活できるのが当たり前となっている。また、法に触れることはいけないことであり、自分はそのような事態に巻き込まれることはないという認識を持っている。一方で、服装規定や提出物の期限等については、個人の都合を優先してしまいがちな生徒や、きまりを窮屈なものとして捉える生徒もいる。将来、社会に出て生活する中で、本教材のように自分の心情かきまりかの選択を迫られたとき、きまりの意義を理解した上で自分の義務を果たし、規律あるよりよい社会を作ろうとする判断ができるようになってほしい。

(3) 使用する教材の特質及び生徒の実態とかかわらせた指導の方針

本教材は、模範的職員だった元さんが幼い姉弟への同情心からきまりを破り、会社から処分を受けたことで、自分の行動についての是非を考え、結果的に自ら職を辞するという話である。二通の手紙から元さんが学んだことを考えさせることによって、普段、きまりについて深く考える機会が少ない生徒達に、きまりに込められた思いや集団の一員としての在り様について理解を深めさせ、秩序と規律のある社会を実現しようとする意欲を持たせたい。

5 本時で期待する生徒の姿

[授業前の生徒の考え方]

→

[授業を通して高めたい生徒の考え方]

・きまりの意義についてあまり深く考えたことがない。
・守らないとおこられる。

・きまりには意味があるので、きちんと守ろう。
・きまりや法を守ることが本当の優しさ、思いやりだ。
・進んできまりを守り、秩序ある社会を作りたい。

6 準備物 資料・ワークシート・掲示物

7 本時の展開

	学習活動	主な発問と予想される生徒の反応 ◎中心発問	指導上の留意点
導入	1 規則やきまりのイメージを紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> ・当たり前だと思っているから何も思わない ・守るべきもの ・守らないと怒られる ・秩序を守るために必要 ・なぜ決められるのか 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前アンケートで、生徒の考え方をつかんでおく。
展開	2 資料を読み考える。 (1) きまりは何のためにあるのかを考える。 (2) 姉弟を入園させた元さんの思いを考える。 (3) 2通の手紙で元さんが考えたことを捉える。	◎保護者同伴や入園時間などの園の規則はなぜあるのだろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・命を守るため ・みんなが安心して楽しめるように。 ・不公平がないように ◎元さんはどんな思いで二人を入園させたのだろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・女の子の思いをかなえてやりたい。 ・誕生日だから特別に入れてやろう。 ・ちゃんと言い聞かせておけば大丈夫だろう。 ◎元さんが「この年になって初めて考えさせられた」ことは何だろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・命や安全、幸せを守るためにきまりはある。 ・軽々しく破ってはいけない。 ・きまりは個人の都合や思いで判断してはいけない。 ・きまりを守ることが本当の思いやり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的な意味を確認する。 ・規則を守るよりも心情を優先させたことを押さえる。 ・きまりの意義やきまりとの関わり方について、多面的に考えさせる。
終末	3 まとめ	◎今日の授業で考えたことを書いてみよう。	

〔評価の主な視点〕

- ・積極的にきまりを守って規律ある社会を作ろうとする発言や記述がある。

8 板書計画

二通の手紙

きまり

- ・ 当たり前だと思ってるから何も思わない
- ・ 守るべきもの
- ・ 秩序を守るために必要
- ・ 守らないと怒られる
- ・ なぜ決められるのか

二人を入園させた元さん

- ・ 女の子の思いをかなえてやりたい
- ・ 誕生日だから特別に入れてやろう
- ・ ちゃんと言い聞かせておけば大丈夫だろう

＜

＝

きまり

- ・ 命、安全を守る
- ・ みんなが安心して楽しめる
- ・ 不公平がない

二通の手紙

初めはみんなが守るもの

- ・ 思いや感情で判断してはいけない
- ・ (みんなが守るもの)
- ・ 軽々しく破れない
- ・ 守ることがやさしさ

9 他の教育活動との関連

